

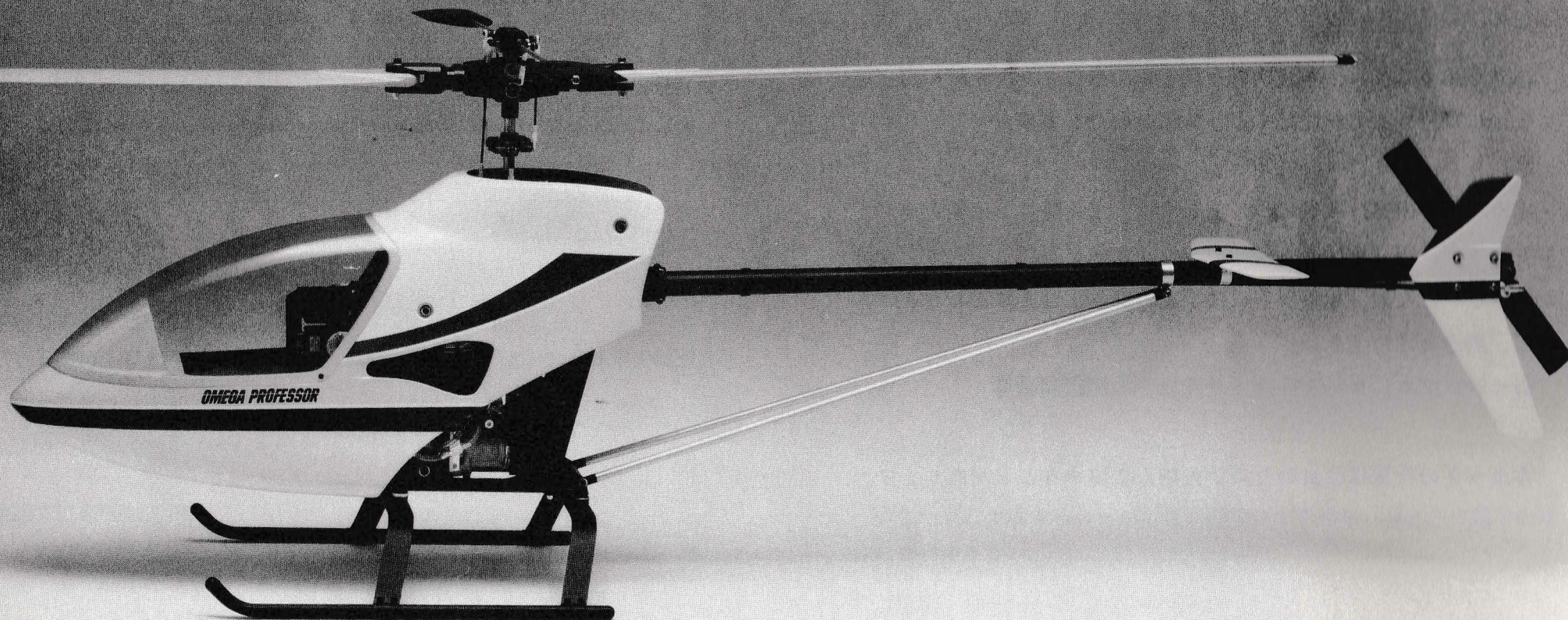


オメガプロ付属セット

INSTRUCTION MANUAL

組立の前に必ずこの説明書をお読み下さい。
安全には十分注意して飛行を行なって下さい。

組立説明書



オメガプロフェッサーおよび、ローターヘッド等は別途お求め下さい。

《目次》

オメガ製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

このセットは、オメガプロフェッサー（以下略してオメガプロと呼びます）に新しく開発しました、ボディー、脚、尾翼、テールジョイント等を取り付け、オメガプロの性能を十分に引出せるよう、部品を取りそろえたものです。

組立を始める前に、本説明書を良くお読みになり、正確に組立てて安全に飛行させていただきようお願いいたします。

本セットの内容、数量につきましては、出荷時に十分検査をしておりますが、組立を始める前にパーツリストを参照して内容をお確かめ下さい。なお、本セットには下記の部品は含まれておりませんので、別途お求め下さい。

☆オメガプロ、ローターヘッド及びその周辺部品等

本セットの仕様は改良のため予告無く変更することがあります。

組立を始める前に.....	1
パーツリスト.....	2
ネジセット内容リスト.....	3
工程1. フロントベッド、脚、燃料タンクの組立.....	4
工程2. テールギヤー Ass'y 部の組立.....	6
工程3. テール部の組立.....	7
工程4. ボディーの組立.....	10
組立後の調整.....	12
お願い.....	12

組立を始める前に

プロ付属セットの組立は、工程1.~工程4.に分かれておりますので、本説明書を参考に正確に組み立てて下さい。なお、ネジセットは各工程別に番号をつけたポリ袋に入れてありますので各工程を始める前に開封して使用して下さい。キットには組立に必要な数量しか入っておりませんので長さの異なったボルト等を間違えて使用しないようご注意ください。

■六角レンチについて

本キットには三種類の六角レンチが含まれています。キャップボルト、およびセットボルトには、それぞれ次表の六角レンチを使用して下さい。

	キャップボルト	セットボルト
M2.6	2.0レンチ	
M3	2.5レンチ	1.5レンチ
M4		2.0レンチ

■ねじの緩み止めについて

本機のネジ部分は全てベンジン等で脱脂をした後、ネジロック剤で接着を行なって下さい。

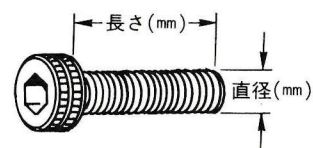
注：ナイロンナット、樹脂部分へのネジ込み箇所は除く

■組立に必要な工具

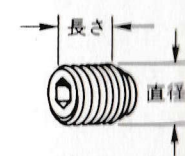
六角スパナ(対辺5.5)、ラジオペンチ、ヤスリ(平細目)、糸のこ、φ2、φ3、φ6ドリル、エポキシ系接着剤、瞬間接着剤、半田ごて等。

■ボルト、ナット類について

キャップボルト



セットボルト

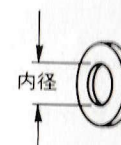


例 M3×10 キャップボルト
 直径 ———— 長さ

ナイロンナット



プレートワッシャー



例 M3 プレートワッシャー
 内径 ————

各ページの下部にスケールが書かれていますので、ボルトの長さの確認にご利用下さい。

No.	名 称	数
(工程 1)		
06003	ランディングダンパー	4
76038	脚スペーサー	2
76040	クロスメンバー E	2
76044	フロントベッド	1
0500-001-7	燃料フィルター	1
0500-005-8	燃料ストッパー	1
0501-023-8	燃料タンク(470cc)	1組
0603-051-8	脚ブレース	2
〃	脚スキッド	2
〃	脚キャップ(φ10用)	4
(工程 2)		
73001	インサイドテールギヤー Ass'y (右用)	1
0300-011-8	テールピッチハウジング(爪付、爪無)	各 2
〃	スペーサー	2
〃	アウタースペーサー	2
〃	1030 ZZ ベアリング	4
0903-005-8	木製テールローターブレード ℓ-105	1組
(工程 3)		
04001	ピアノ線入り PP ロッド	1組
06001	PP ロッドガイド	1組
06004	水平尾翼、垂直尾翼	各 1
〃	尾翼スペーサー	4

No.	名 称	数
(工程 3)		
71023	φ2.2ピアノ線(ガイド、スペーサー付)	1組
〃	テールジョイント	2
73018	テールギヤーサポート	1組
76033	テールパイプサポート	1組
0601-064-5	テールパイプ ℓ-800	1
0601-131-6	水平尾翼用テールクランプ(SUS)	1
0601-137-6	テールサポータークランプ A (SUS)	1
〃	φ3×φ9×t5スペーサー	1
0601-145-7	テールサポーターパイプ ℓ-530	2
0601-146-7	テールサポーターエンド	4
(工程 4)		
76041	プロ用ボディー左、右	各 1
〃	キャノピー	1
〃	計器板、補強板	各 1
〃	キャビン取付クロスメンバー(ℓ 23)	2
〃	キャビン取付クロスメンバー(ℓ 34)	2
0001-004-6	ボディー接着剤	1
(付属品)		
	ウレタンフォーム	1
	デカール	1
	オメガプロ付属セット ネジセット	1組
	オメガプロ付属セット 組立説明書	1

ネジセット内容リスト

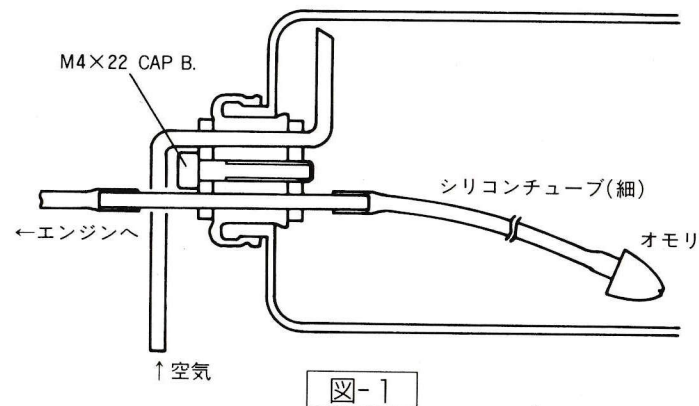
工程No.	寸法及び名称	数	
1	M 3 × 8	キャップボルト	2
	M 3 × 10	キャップボルト	2
	M 3 × 12	キャップボルト	4
	M 3 × 8	皿キャップボルト	4
	M 4 × 4	セットボルト	4
	M 3	プレートワッシャー	4
	M 3	ナイロンナット	4
	1.5	六角レンチ	1
	2.0	六角レンチ	1
	2.5	六角レンチ	1
2	M 2 × 10	⊕ボルト	8
	M 2 × 12	⊕ボルト	2
	M 3 × 15	キャップボルト	2
	M 3 × 18	キャップボルト	2
	M 2	ナット	10
	M 3	ナイロンナット	2
		ジョイントボール	2
3	M2.6 × 8	キャップボルト	4
	M 3 × 10	キャップボルト	2
	M 3 × 12	キャップボルト	2
	M 3 × 18	キャップボルト	1
	M 3 × 25	キャップボルト	2
	M 3 × 35	キャップボルト	4

工程No.	寸法及び名称	数	
3	M 3 × 40	キャップボルト	2
	M 4 × 4	セットボルト	12
	M 3	プレートワッシャー	10
	M 3	ナイロンナット	17
		クイックリンク	2
4	M 3 × 12	キャップボルト	4
	M 3 × 15	セットボルト	4
	M2.3 × 5	タッピングボルト	3
	M 3	プレートワッシャー	4
		ラバーグロメット	4

工程1. フロントベッド、脚、燃料タンクの組立

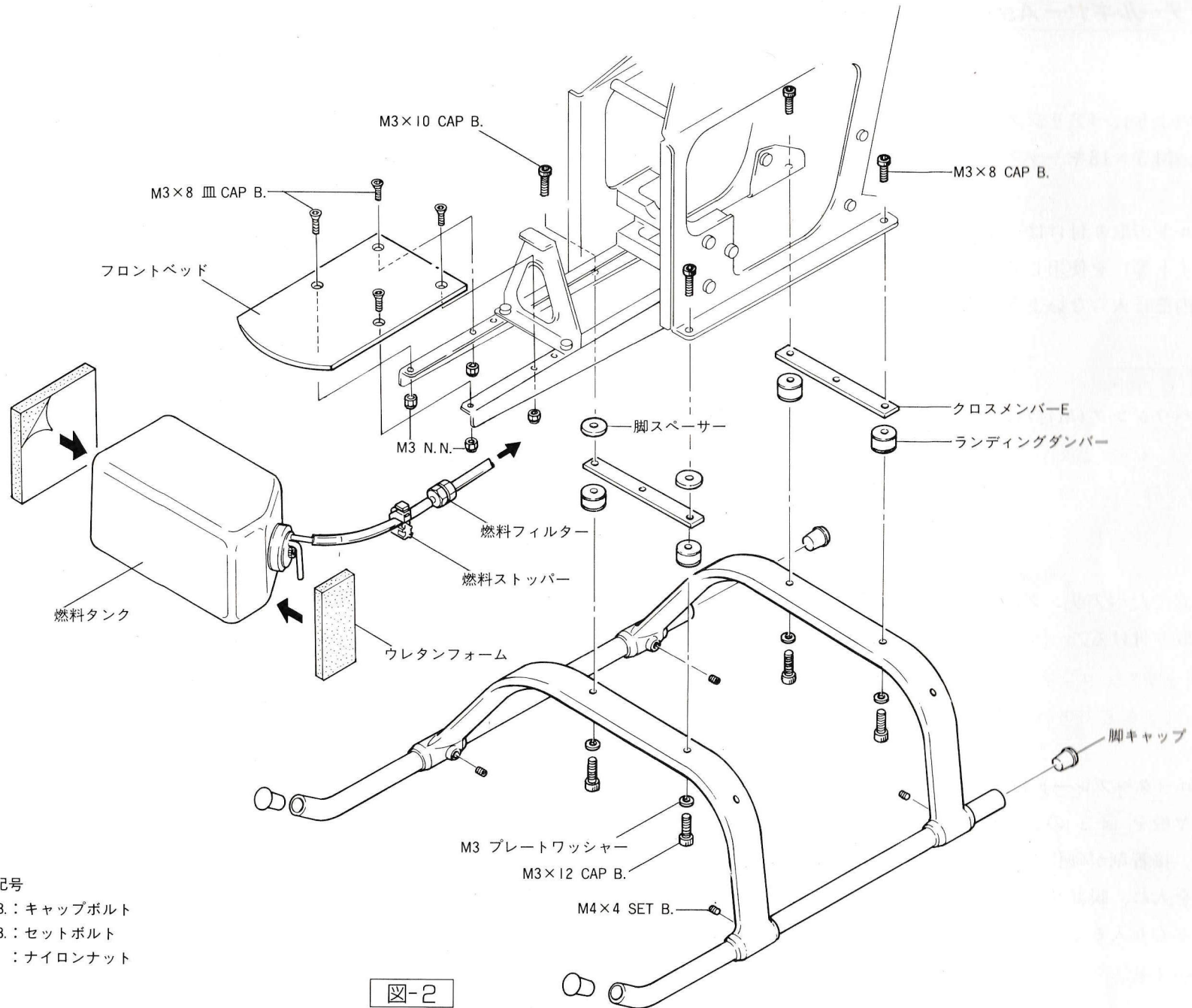
- 1** サブフレームにフロントベッドを取り付ける。
 [M3×8 皿キャップボルト……………4]
 [M3 ナイロんなット……………4]
- 2** メインフレーム前下部にクロスメンバーEおよび、スペーサーを介し、ランディングダンパーを取り付ける。
 [M3×10 キャップボルト……………2]
- 3** メインフレーム後下部にクロスメンバーEを介し、ランディングダンパーを取り付ける。
 [M3×8 キャップボルト……………2]
- 4** **2****3**で取り付けしたダンパー下部に脚ブレースを取り付ける。
 [M3×12 キャップボルト……………4]
 [M3 プレートワッシャー……………4]
- 5** 脚スキッドに脚キャップをゴム系接着剤で取り付ける。
- 6** 脚ブレースに脚スキッドを通し、スキッド後部が後ろのブレースより3cm位出した所で、先端曲げ部分が上に向くように位置を合わせ、ブレース内側からセットボルトで固定する。
 [M4×4 セットボルト……………4]

- 7** 燃料タンクキャップを **図-1** のように組み立てて、タンク本体に差し込み、折り返してからボルトを締め固定する。



- 8** 完成した燃料タンクの側面に、ウレタンホームのシールをはがして貼り付け、サーボプレートリテーナーとメインフレームの間に入れる。





省略記号

CAP B. : キャップボルト

SET B. : セットボルト

N.N. : ナイロンナット

図-2



- 9** 図-4 のようにベアリングの間にスペーサー、アウトースペーサーを入れて、M3×18キャップボルトでテールローターハブに取り付ける。

注：ボルトの取り付けは、良く脱脂した後、ネジロック剤（カルトタイト等）を使用して下さい。また、ネジロック剤はベアリング内部に入らないように注意して下さい。

[M3×18 キャップボルト……………2]

- 10** ピッチハウジング(爪付)にジョイントボールを、取り付ける。

[M2×12 ⊕ボルト……………2]

[M2 ナット……………2]

[ジョイントボール……………2]

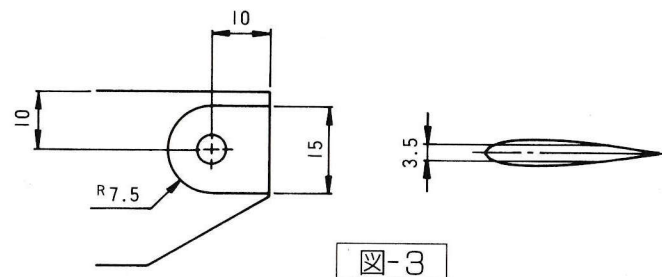
- 11** 9で組立てたベアリング部に、ピッチハウジング(爪付、爪無)を図のように取り付ける。

[M2×10 ⊕ボルト……………8]

[M2 ナット……………8]

- 12** テールローターブレード取付部両面を厚さ約3.5mmに平行に削り、付属のベニヤ板を図-3のように4枚に切断して、エポキシ系接着剤で接着する。接着剤が硬化したら下の図の位置にφ5の穴をあけ、アルミ製カラーを入れ、瞬間接着剤で接着する。次に、テールピッチハウジングにしっかり入るように取付面の厚さを調整し、仕上げ塗装を行なっておく。

注：仕上げを行なう前に、2枚のテールブレードのバランスを調整しておいて下さい。

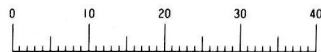


- 13** テールローターブレードをテールピッチハウジングに取り付ける。

注：テールローターブレードの向きを間違えないよう、またボルトは強く締めつけず、テールローターが回転中に遠心力で動くことができる程度にしておく。

[M3×15 キャップボルト……………2]

[M3 ナイロンナット……………2]



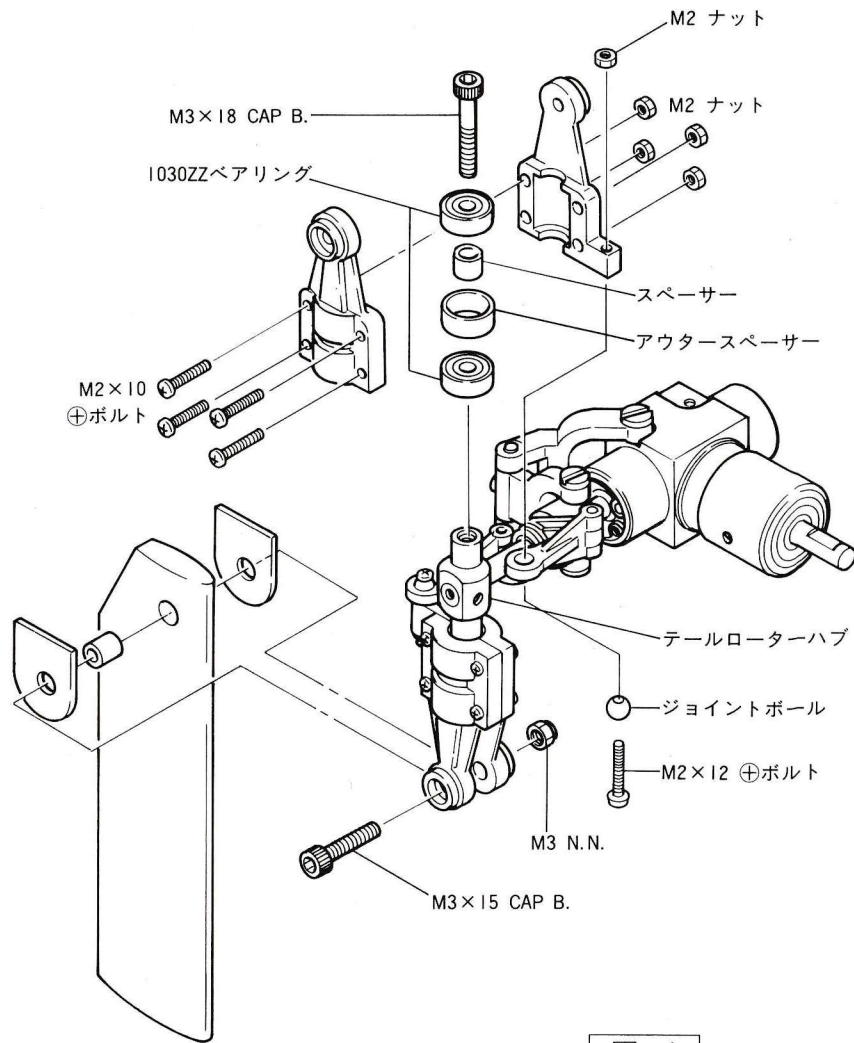


図-4

- 14** テールパイプの細い方の先端を **図-5** のように加工する。
 注：パイプはテーパになっているので、太い方と細い方を間違えないように十分注意して下さい。

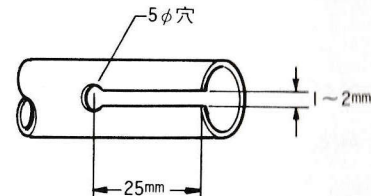


図-5

- 15** パイプの太い方より、φ2.2ピアノ線(ピアノ線ガイド、スペーサー付)をピアノ線ガイドの向きに注意して入れ、細い方に軽く引っ張り、ガイドを固定する。
- 16** φ2.2ピアノ線両端の曲げ部分をテールジョイントの長穴に入れて、スペーサーを挿入してセットボルトで固定する。
 注：スペーサーを固定するボルトは、ネジロック剤を使用して締めすぎないように注意して下さい。締めすぎるとピアノ線が動かなくなることがあります。

[M4 x 4 セットボルト…………… 6]

- 17** テールパイプの細い方の先端にテールサポータークランプ(A)を通し、テールギヤ Ass'y のインプットシャフトとテールジョイントを取り付ける。

[M4 x 4 セットボルト…………… 3]



18 テールパイプとテールギヤー Ass'y をテールギヤーサポートで仮組する。

[M 3 × 35 キャップボルト…………… 4]

[M 3 ナイロンナット…………… 4]

19 テールジョイントをベベルピニオンギヤーシャフトに取り付ける。この後、メインフレームとテールパイプをテールパイプサポートで取り付ける。

[M 3 × 25 キャップボルト…………… 2]

[M 3 × 40 キャップボルト…………… 2]

[M 4 × 4 セットボルト…………… 3]

[M 3 ナイロンナット…………… 4]

20 テールサポーターパイプの両端に、テールサポーターエンドを入れ、M2.6 × 8 キャップボルトで固定する。(2組作る)

[M2.6 × 8 キャップボルト…………… 4]

21 メインフレーム後下部にテールサポーターを取り付け、反対側をテールサポータークランプ(A)でテールパイプに固定する。

[M 3 × 10 キャップボルト…………… 2]

[M 3 × 18 キャップボルト…………… 1]

[M 3 プレートワッシャー…………… 4]

[M 3 ナイロンナット…………… 3]

22 18で仮組したテールギヤーサポートに、尾翼スペーサーを介して垂直尾翼を入れ、マストに平行になるように、またテールギヤー Ass'y のアウトプットシャフトが直角になるように位置を決める。この後、テールギヤーサポート、垂直尾翼の順に固定する。

[M 3 プレートワッシャー…………… 4]

[M 3 ナイロンナット…………… 4]

23 水平尾翼をテールクランプでテールパイプに固定する。この時、テールローターに当たらないよう、また、後方から見て垂直尾翼と直角になるように取り付ける。

[M 3 × 12 キャップボルト…………… 2]

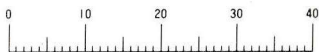
[M 3 プレートワッシャー…………… 2]

[M 3 ナイロンナット…………… 2]

24 ピアノ線入りPPロッドを取り付ける。ラダーサーボホーンがニュートラルの時、インサイドレバーもニュートラルになるよう、長さを決めピアノ線を切断する。切断部をヤスリ等で良く荒らしてから、ロッドエンドを半田づけでしっかり固定する。

25 PPロッドガイドにPPロッドを通し、テールパイプの要所要所に瞬間接着剤で固定する。この後、ロッドエンドにクイックリンクをねじ込み、リンケージを行なう。

[クイックリンク…………… 2]



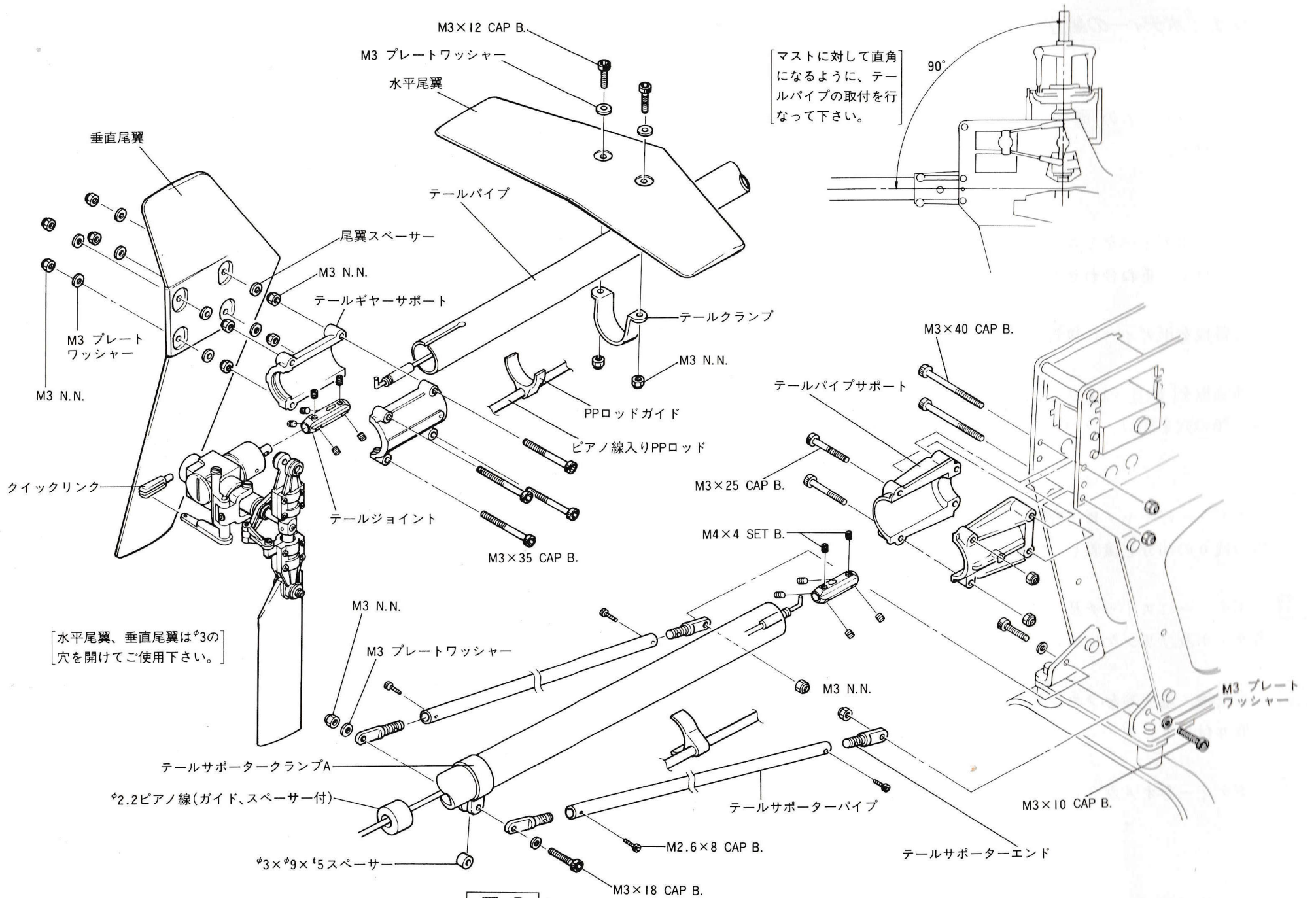


図-6



工程4. ボディーの組立

- 26** メインフレームの **図-7** の位置に、キャビン取付クロスメンバーを取り付ける。

[M3×15 セットボルト……………4]

- 27** 左右のボディーをセロテープ等で仮止めし、付属の液体接着剤を小筆につけて、重ね合わせた部分に流して接着する。

- 28** 計器板をボディーに接着する。

- 29** 補強板を **図-8** のように切り抜き、ボディー取付位置の内側に接着後、φ6の穴を開け、ラバーグロメット(黒いゴムブッシュ)を入れる。

[ラバーグロメット……………4]

- 30** ボディーのキャノピー取付用タッピングボルト位置の内側に、補強板の残りの部分を接着し、φ2のドリルで下穴をあけておく。

- 31** ボディーにスイッチ及びアンテナ等の穴をあけ、本体に仮付けして各サーボ及びリンクージロッド類に当たる所を切断しておく。

- 32** 受信機、電池等をフロントベッドに搭載し、スイッチ類をボディーに取り付ける。

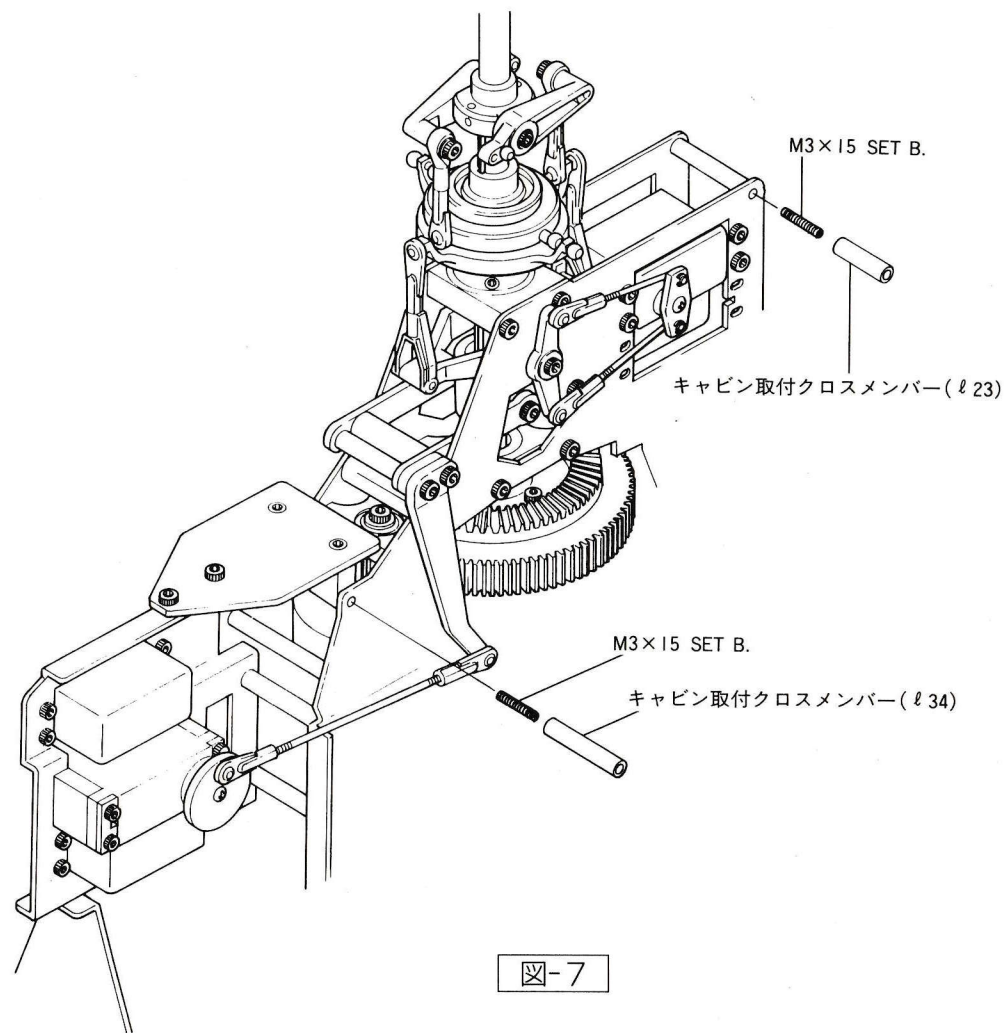
- 33** ボディーをオメガプロ本体に取り付ける。

[M3×12 キャップボルト……………4]

[M3 プレートワッシャー……………4]

- 34** キャノピーをタッピングボルトでボディーに取り付ける。

[M2.3×5 タッピングボルト……………3]



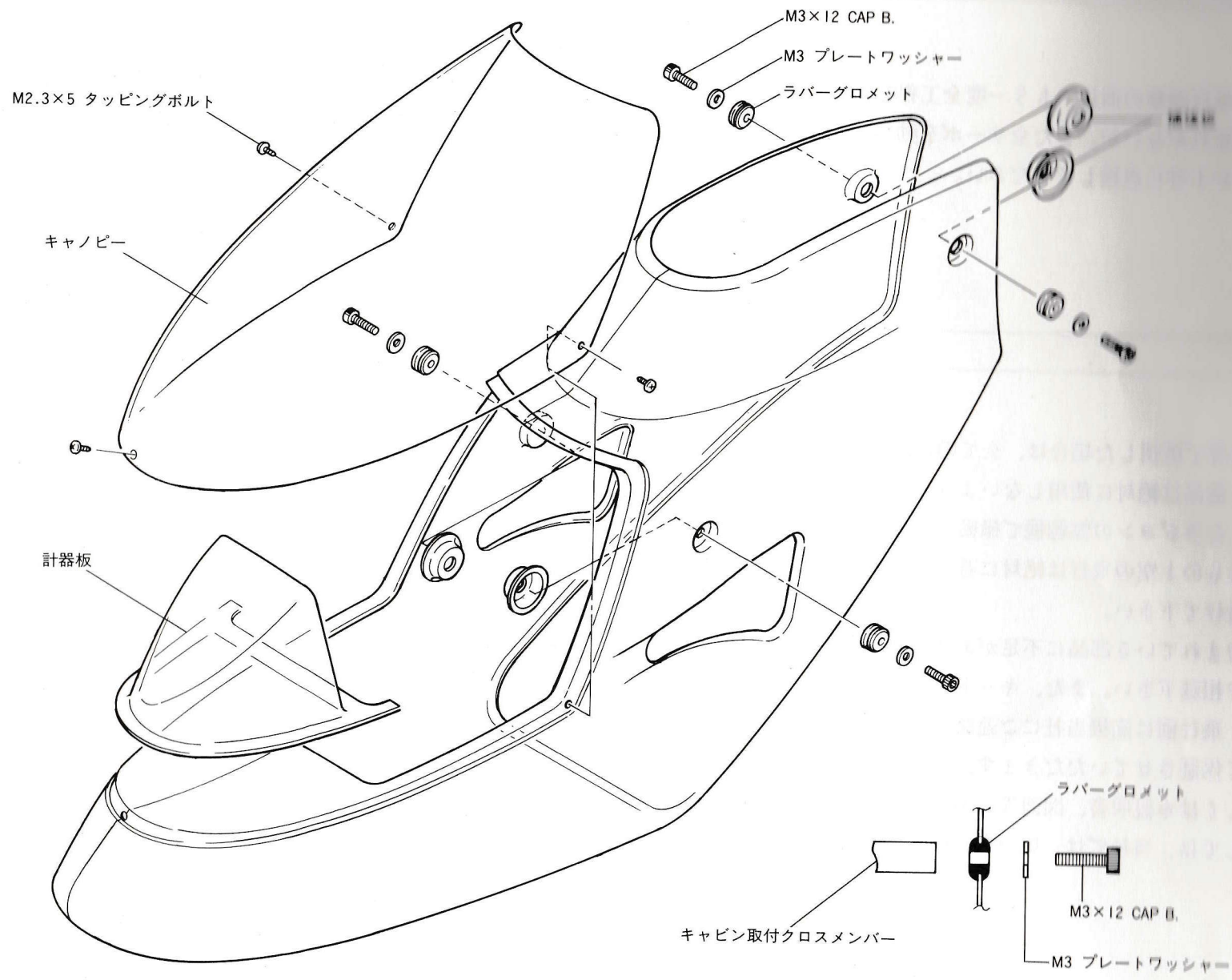


図-8



組立後の調整

組立が終わったら飛行調整の前に、もう一度全工程を確認し、組立てミスやボルト類の締め忘れがないか、また全サーボを動かし、リンケージに不都合がないかどうか十分に点検してください。

お願い

万一、転倒や墜落等で破損した場合は、全ての部品の点検を十分行ない、少しでも疑問がある部品は絶対に使用しないように注意して下さい。また、微弱な電波を使用したラジコンの無線機で操縦していることを念頭に、人や建物の近くやそれらの上空の飛行は絶対に避け、操縦もあまり近くで行なわないように心掛けて下さい。

万一、キットに含まれている部品に不足がありましたら、組立前にお買い上げの模型店にご相談下さい。また、キットに含まれている部品に不具合がありましたら、飛行前に直接当社にご連絡下さい。当該部品の良品との交換を限度として保証させていただきます。

上記の場合、若しくは本説明書、図面等の不備によって、飛行後に発生した事故に関しましては、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

カルトヘリコプターの主要部分、およびデザインはすべて、特許、実用新案、意匠登録等、登録または、出願済みとなっております。

本説明書、図面等の無断引用、転載を禁じます。

主要諸元

メインローター径	1560mm
機体全長	1380mm
全備重量	4.5kg~4.6kg
メカニズム	オメガプロ
エンジン	60クラス
RC装置	5チャンネル
ボディー材質	ABS真空成形



総発売元 **株式会社 カルト産業** 〒412 静岡県御殿場市東田中1447-1
TEL0550(83)8181 FAX0550(83)8180

企画製造 **OMEGA PRODUCTS**

